

第40回 全日本少年サッカー大会埼玉県大会 西部地区予選実施要領

- 1 主 催 公益財団法人日本サッカー協会／公益財団法人日本体育協会日本スポーツ少年団／読売新聞社／公益財団法人埼玉県サッカー協会
- 2 主 管 公益財団法人埼玉県サッカー協会第4種委員会
- 3 運 営 西部地区運営委員会
- 4 期 日 2016年10月23日（日）、30日（日）（予備日11月3日（祝））
- 5 参加資格 2016年度日本サッカー協会第4種に加盟登録したチーム（以下「加盟チーム」）で、今年度埼玉県第4種リーグ戦に参加していること
- 6 参加チーム (1) 今年度埼玉県第4種リーグ戦西部地区の各ブロック1位チーム14チーム、及び別に示すプレーオフを勝ち抜いた14チームとする。（別紙「プレーオフ実施要領」）
(2) 選手登録は、埼玉県第4種リーグ戦エントリー表（最終版）に記載した8人以上の中から16人以内とする。
- 7 競技方法 (1) 前6（1）の参加チームを、4ブロックに分けてのトーナメントとする。
(2) 試合時間は40分（20分ハーフ）とし、ハーフタイムのインターバルは5分とする。
規定の競技時間内に勝敗が決しない場合は、ペナルティマークからのキックにより勝者となるチームを決定する。ペナルティマークからのキックに入るまでのインターバルは1分とする。
(3) 代表決定戦については、規定の競技時間内に勝敗が決しない場合は、10分（5分ハーフ）の延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティマークからのキックにより勝者となるチームを決定する。
延長戦に入る前のインターバルは5分、ペナルティマークからのキックに入るまでのインターバルは1分とする。
- 8 競技規則 次の（1）から（5）及び本実施要項に別に定める他は、日本サッカー協会競技規則2015／2016による。
(1) 1チーム8人の競技者によって行い、うち1人はゴールキーパーとする。
試合中、8人になり選手の補充ができない場合は、そのまま続行する。
(2) 退場者が出た場合は、交代要員の中から競技者を補充することができる。
(3) 競技のフィールドは、長さ68m、幅50mとし、ゴールは5m×2.15mとする。
(4) キックオフから直接得点することはできない。キックオフからのボールが直接相手ゴールに入った場合は相手チームのゴールキックで再開する。
(5) ペナルティマークからのキックにより勝者となるチームを決定する場合は、出場中の競技者3人により行う。
- 9 選手交代 登録選手（16人以内）の範囲内で自由な交代とし、交代ゾーンを使用する。
(1) 交代は、主審の承認を得ることなく、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。
(2) ゴールキーパーの交代は、ボールがアウトオブプレーのときに、主審に通知し、主審の承認を得て行う。
- 10 使用球 公認4号ボールとする。
- 11 服 装 登録されたユニフォームを着用する。
ポイント取替式のスパイクの使用は認めない。

- 1 2 代 表 権 各ブロックの第1位4チームを、第40回全日本少年サッカー大会埼玉県大会（以下「埼玉県大会」という。）の出場チームとする。
- 1 3 そ の 他 (1) 警告・退場について
- ① 前6(1)のプレーオフから全日本少年サッカー大会決勝大会まで懲罰規定上の同一競技会とみなし、地区予選終了時点での未消化の出場停止処分は、埼玉県大会に持ち越し適用される。
 - ② 地区予選終了時点での累積の警告は消滅し、埼玉県大会には持ち越さない。
- (2) 本要領・確認事項によるほか、細部については西部地区運営委員会が定めるところによる。